

第17回 アイネ・クライネ・コンチェルト 11/11(日) パルテノン多摩 ~ 9時45分集合~ 時間厳守!

心ときめく音楽を。集中力を高めて本番に!

8月の「アコーディオン夏合宿セミナー」をカワギリに、準備を進めてきた「風のアンサンブル」のアイネ・クライネ・コンチェルト出演の取り組みは3ヶ月を経て、いよいよ3日後に迫りました。

この間、各団体の練習をもとに、3回の合同レッスンと数回の公開レッスンを実施してきました。11/4(金)、第3回合同レッスンが紅葉ヶ丘文化センター(府中)で開催され、ブラスを交えたほぼ全員が揃う最後の仕上げを行いました。また、11/7(水)の稲城ACに他団体メンバーも加えてのアコーディオンの公開レッスンでは、「真珠とりのタンゴ」「悲しき天使」など、細部にわたる仕上げに全力投球しました。

今回の出演は5団体が競合するコラボ ---「風のアンサンブル」の演目は4曲ながら、一曲一曲に、より完成度が迫られます。ヴィータ・マンスリーコンサート(合奏参加33名)と比較しても、より広



いホールに出演者は前回の8割弱(今回26名)。一層のダイナミズムと表現力が求められています。

この間、体調を崩したメンバーも少なからずいます。当日は、ゲネプロ~練習~本番という流れに身体を上手にコントロールし、本番の集中力を最大限に高めて演奏に臨みましょう。互いの音を聞き合い、指揮に集中して悔いのない演奏で本番を迎えましょう。

音楽には、人々の様々な理性と感情、そして生き様が表現され、凝縮されています。愛と嫉妬を飲み込んで静かにたたずむ海(真珠とりのタンゴ)。「苦悩から歓喜へ」と、わが人生を作品に投影して未来を希求するベートーヴェンの第九交響曲(歓喜の歌)。厳粛な秩序の美しさを表現するJ.S.Bachの「小フーガ」。そして、歴史に翻弄され、懐かしい過去の思い出にとらわれながらも未来を模索する「悲しき天使」。すべて美しいメロディーとハーモニーに彩られた曲です。

これらのイメージやメッセージを私たちの想いとし、心ときめく音として聴き手に届けましょう。

事務局から

<本番当日の行動スケジュール>

9:45 小ホール集合

*演奏準備 女性→第三楽屋/男性→リハーサル室

10:00 ステージ出演者全員集合(楽器無し)顔合わせ

*リハーサル室で指慣らし、合わせ(状況により時間設定)、待機

11:15 合同演奏「あすという日が」リハーサル(ステージ全員集合):楽器演奏者以外は歌

11:40 「風のアンサンブル」リハーサル(楽器と譜面を持ってステージ全員集合)

12:05 昼食予定

12:30~13:30 ステージ合わせレッスンの可能性あり

13:30~14:30 リハーサル室で合わせレッスンの可能性あり

14:30~ 着替え、諸準備

15:00 開幕

15:30~15:50 本番前合わせ(リハーサル室)

16:11 ステージに板付き

16:14~16:33 「風のアンサンブル」演奏

17:01~17:11 合同演奏「あすという日が」

17:11 終演挨拶

17:26 記念撮影(出演者全員集合:ステージ)

*撮影終了後、「風のアンサンブル」は所定の場所に集合(ご苦労さん会)

*出演者アンケート記入提出後、解散。

<行動上の諸注意>

- 全体責任者:後藤広一事務局長
→行動責任者:男性:霜島義和/女性:勝俣友子
- 音だし(練習、合わせ)の時間は流動的なので次の体制で指示に従う。
- 行動が流動的なため、食事、その他で外出などせぬよう、練習時以外はリハーサル室、第3楽屋で待機、またはホール客室で鑑賞する。
- 昼食は持参して下さい。
- 所定の場から離れるときは必ず行動責任者に申し出る。

■お問合せ、緊急連絡は下記携帯に

携帯 ☎ 090-3816-6189 (後藤)

Mail ; k-0351-g@ezweb.ne.jp

■当日は以下のものをお持ち下さい。

□楽譜 悲しき天使/歓喜の歌/真珠とりのタンゴ/小フーガト短調(楽譜は使い易いように整理して綴じる) □譜面台/筆記用具

●服装 上下黒。靴も準じる。

パルテノン多摩

<↑会場名クリックで交通アクセス表示>

☎042-375-1414

〒206-0033 東京都多摩市落合 2-35

●電車利用の場合

京王線・小田急線・多摩モノレールとも多摩センター駅下車徒歩5分

●車でお越しの方へ **駐車場**

- 1.パルテノン多摩東・西駐車場
- 2.多摩センター地区協同利用駐車場

1時間:240円(以降30分毎に120円)



主催:

アイネ・クライネ・コンツェルト実行委員会
公益財団法人多摩市文化振興財団

*当日券入用の際は下記にお問い合わせ下さい。

1) チケットパルテノン[パルテノン多摩2F] 042-376-8181

ゲネプロと本番の注意事項

舞台スタッフ立ち会いでプログラム通り演奏します。コンサート成功のための重要なプロセス。司会が入り、舞台配置と移動、音響チェック、照明チェックを含め**全曲演奏**します。

1. 演奏譜面は順番通りに綴じておく。当日、譜面台紙（赤）に綴じ込みます。
2. 楽譜、楽器、譜面台などに名前を書き、目印を付ける。
3. 本番の衣装チェック。靴や小物を忘れないで。
4. 舞台裏で蛇腹止めを外し、入場の際は左手でペローを押さえて出る。
5. ステージでは譜面台は舞台の備品を使います。
6. 座り位置を確認し、椅子は指揮にまっすぐ向けて座る。左右の（カーブ）ラインも注意。
7. ライトがあたったり、明かりの加減が普段と違ったりします。楽譜が見えない、指揮が見えない等、問題があったときはスタッフに。
8. ステージでは必ずスイッチ（左右）とはじめの音を確認して指揮を待つ。
9. 演奏中は指揮に集中し、節目節目ではっきり振りを確認。
10. 同じパートや他のパートを聞きしっかり流れ（テンポ）に乗りましょう。
11. 笑顔で！！演奏を楽しむことが大切。演奏の喜びを目一杯表現しよう。
12. 演奏が終わったらにこやかな表情で静止。合奏では指揮者が代表して挨拶。（つられお辞儀をしない）
13. 演奏の曲間（とくに音のない間）や、演奏終了直後の音のない瞬間に、ペローを閉めて空気音をだしたり、鍵盤に手が触れて雑音を出すことは厳禁。ペローは静かに閉じます。
14. 舞台での行動は「慌てず、急がず、機敏に」。

